

幼児保一元化の考えは

教育委員会と協議の場を

米澤 修司 議員(民主党)

①今後の保育所の入所希望者数の見込みと施設整備についての考えは。保健福祉部長 現在の保育所入所数は940人となっている。今後5年間で最大1000人程度の入所希望となると見込んでいる。河原保育所の建て替え、松井ヶ丘保育園の移転に伴う定員増で対応できる。施設の老朽化については、今後全体的な整備計画をつくる。

②三山木地域では住宅開発が進み、保育所と幼稚園への入所者数が増加している。今後、施設整備が必要となる。幼児一元化については市の考えは。保健福祉部長 同志社山手地域からの保育所入所者数は今後も増加が予想される。南部地域では施設の老朽化等も含めた検討が必要となる。幼児一元化に対する考え方の整理について教育委員会



三山木保育所の外観

と早急に協議の場を持つ。③公立幼稚園、小中学校の児童生徒数の見込みと施設整備についての市の考えは。教育部長 幼稚園児数は現在766人で、平成18年度より122人減少している。今後も減少傾向にあると認識している。小中学校の児童生徒数は27年度まで増加傾向であるが、28年度以降は減少に転ずると見込んでいる。同志社山手地域など住宅開発に伴う児童生徒数の増加に対しては、必要な施設整備に努める。

④来年度の学校給食調理業務民間委託の考え方は。また今後の直営校の体制は。教育部長 23年度については、田辺東小、桃園小で調理業務を委託する計画で委託校が6校となる。24年度は、直営校3校に正規職員と嘱託職員を配置し、正規職員を3分の2確保することを念頭に努力する。

⑤中学校給食を実施すべきと思うが市の考えは。教育部長 現在、中学生の食のあり方について学校給食推進委員会で検討を進めている。

全天候型施設の計画は 財政見通しの段階で検討

奥西 伊佐男 議員(一新会)

①最近の一町田多目的運動広場の利用状況と、全天候型施設への計画について市の見解を問う。

先の緑泉園協定の継続更新もあり、地元との約束事として、当初からの計画が推進されていると思われるが、市の今後の方針に変わりはしないか。教育部長 利用状況は、年々増加の傾向にある。施設計画は、非常に財政的に苦しい現状から、一定の財政見通しが得られる段階において、改めて検討していきたい。

②市役所庁舎付近の大型車両を中心とした違法駐車に対する改善策の現状は。昼休み時間帯を中心に国道に沿って悪質な駐車車が減らず、改善



一町田多目的運動広場

が現れない。危険でもあり道路管理者や関係機関とも協議し、抜本的な改善策が必要では。安心まちづくり室長 庁舎付近に迷惑駐車追放の看板設置や、警察に取り締まり強化を依頼している。迷惑駐車追放の物理的施策を関係機関とも協議中で、引き続き改善に向け要望する。

③住宅用火災警報器の普及率向上への取り組みの現状と消防団員不足の地域との現状と対策を問う。消防長 本年10月から全世帯対象に実態調査を実施する。また広報や取り組み状況を問う。

域説明会で、早期設置に向け啓発活動を進めている。消防団員の不足地域には、区・自治会にも勧誘活動を依頼、関係者との各会合を通して団員確保に向け取り組んでいく。

④南田辺地域の開発に伴う行政としての市民サービス充実に向けた取り組み状況を問う。教育部長 公民館は同地区内に二カ所の建設を計画、来春には一カ所完成予定。児童生徒の増加を見込み、小学校・中学校は校舎の増築、施設の整備で対応する。幼稚園については、就園状況の推移を見て、今後地域のニーズに対応できるよう検討が必要と考えている。

J三山木駅 エレベーター設置は 11月から供用の予定

喜多進 議員(新栄会)



エレベーターが設置されるJR三山木駅

①天津神川の切り下げ改修と治水対策は。建設部長 将来的な切り下げ改修も視野に入れ、早急な河川改修の中で、

②天津神川の府道八幡木津線とJR線交差点に

③防賀川と天津神川の交差点の改修と、防賀川

のしゅんせつ(川底の堆積物の除去)は。建設部長 交差点は管きよ(管状の水路)を補修する必要性が確認され、工法を検討中。防賀川のしゅんせつは、絶滅危惧種である希少生物が確認され、生息に影響のないしゅんせつ方法を検討され行われる予定。

④山手幹線南伸について、同志社山手から精華北間の進捗状況は。建設部長 府は、平成27年度の完成をメドに、地元協議、測量及び設計に着手されている。

⑤山手幹線地蔵谷橋から国道307号の交差点区間と、新区間の防犯灯設置は。安心まちづくり室長

中央公民館の hand すりは 本年度中に設置する

河田 美穂 議員(公明党)



hand すりが設置される中央公民館の階段

①子宮頸がんワクチン接種について。②助成開始年齢に幅を持たせるべき。保健福祉部長 府が予定している助成制度も活用し、さらに本市独自で自己負担なしで接種できるようにしたところなので、今後、国や府の対応を踏まえ検討する。

③接種費用は償還払いとするのか。保健福祉部長 経費負担をできるだけ出さないように進めていきたい。

④接種率を上げるための啓発を検討するべきだ。保健福祉部長 府と足並みをそろえて、教育委員会とも連携し、効果的な啓発を検討する。

⑤来年度以降も、インターハイ出場者には前倒ししてでも麻疹ワクチンの接種助成をすべきだ。

保健福祉部長 来年度以降は、開催県の実情を見て、改めてその必要性を検討したい。

③中央公民館前の出入り口の整備をすべき。教育部長 中央公民館の正面階段の手すりは本年度中に設置する。

④路線バスの経路を府営田辺団地を通るように見直しをすべきである。安心まちづくり室長 検証委員会でも問題解決への議論を深めたい。

⑤熱中症予防をポスター、チラシの配布など、もっと訴えるべきである。保健福祉部長 さまざまな方法で啓発していきたい。

⑥放置自転車をなくすため、駐輪場の増設、見回りの強化、レンタサイクルの長期貸出しなどをしているかどうか。安心まちづくり室長

⑦市民の安全のため、広い歩道は、カラー舗装などで、自転車道と歩行者道を区分してはどうか。建設部長 三山木地域で安全に自転車と歩行者が通行できるよう整備を進めている。